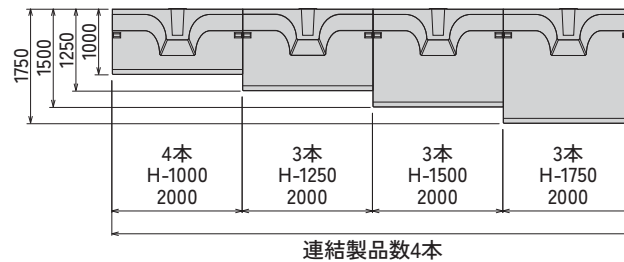


端部処理と最低連結本数

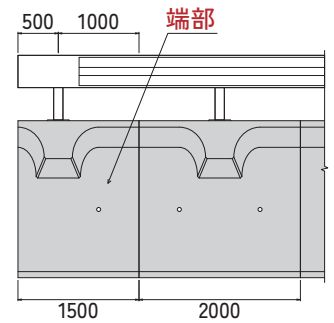
呼び名	最低連結本数
1000	4本(4本)
1250	3本(3本)
1500	3本(3本)
1750	3本(3本)
2000	3本(3本)
2250	2本(2本)
2500	2本(2本)
2750	2本(2本)
3000	2本(2本)
3500	2本(2本)
4000	2本(2本)

■ 参考割付図

高さの違う製品を使用する場合も最低連結本数をお使いください。



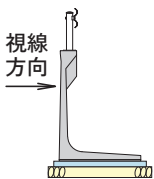
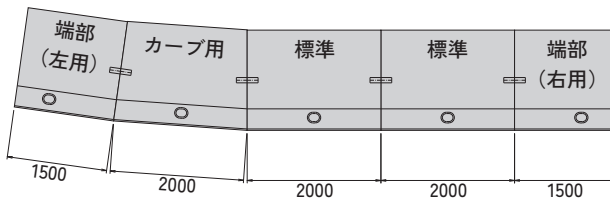
■ 端部割付図



1. 衝突荷重による安定計算に基づいて出された最低連結本数です。必ず、最低連結本数以上を連結して使用してください。
2. () 内の本数は、L=1.50mの端部用を含む場合です。(端部用は1本のみ含まれる)
3. 連結ボルトはM16 (F10T) を使用しスパナ等で締め付けを行ってください。
4. ボルトによる連結の後に連結箇所にもルタルを充填してください。

使用例

使用例 (平面図)



端部用の使い分け

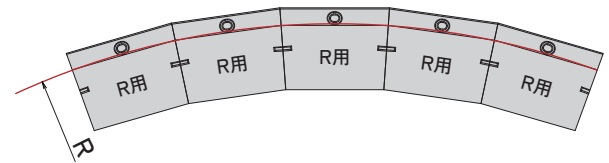
たて壁正面 (模様面) から見て

下記の通り使い分ける。

「右側端部→右用」・「左側端部→左用」

カーブの対応

■ 外カーブ



上図のように、カーブ対応タイプ使用します。前面の開きを0とし、かかと版の先端をカーブに沿って開かせて据付けをしてください。

H3000以下はR=15m、H3500以上はR=20mまで対応可能です。Rがこれよりも小さい場合は検討が必要となります。

■ 内カーブ

標準タイプを使用します。前面の開きを0とし、かかと版の先端をカーブに沿って開かせて据付けしてください。

施工写真

